

滋賀県の医師の状況と確保対策

H24.10.11

滋賀県健康福祉部

滋賀県医師キャリアサポートセンター

(http://www.pref.shiga.jp/e/lakadia/ishikakuho/center_top.html)



滋賀県内の医師の状況1

❁ 医師数

(1) **H22**医師届：**211.4**/人口10万人 全国**35**位(**H20-1**)

病院：**1,889**人(**H20+76**) 診療所：**941**人(**H20+6**)

(2) 県調査

	病 院 <small>(初期研修医を除く)</small>		診療所数
	常勤 (女性)	非常勤 (女性)	(医科、一般)
H15	1, 4 0 6 (—)	1, 1 8 6 (—)	7 3 8
16	1, 4 2 1 (—)	1, 2 4 0 (—)	7 8 4
17	1, 4 6 9 (15%)	1, 2 6 0 (20%)	7 5 7
18	1, 4 9 2 (15%)	1, 3 2 8 (20%)	7 7 3
19	1, 3 7 1 (14%)	1, 6 4 5 (20%)	7 9 1
20	1, 3 6 6 (13%)	1, 7 0 2 (20%)	7 8 4
21	1, 4 7 6 (15%)	1, 6 4 4 (20%)	8 1 4
22	1, 5 2 7 (16%)	1, 5 8 6 (21%)	8 3 1
23	1, 5 6 7 (16%)	1, 8 9 7 (19%)	8 4 1
24	1, 5 9 8 (16%)	1, 9 7 0 (21%)	8 3 7



滋賀県の医師の地域分布

	H15	H20	H21	H22	H23	H24
大津	460	440	544	567	573	584
湖南	284	326	343	369	374	382
甲賀	98	94	96	98	101	103
東近江	205	194	179	194	208	212
湖東	130	116	118	110	108	110
湖北	182	164	165	156	169	169
湖西	47	32	33	33	34	38
全県	1,406	1,366	1,476	1,527	1,567	1,598

滋賀県の医師の診療科偏在

	H15	H19	H20	H23	H24
小児科	99	97	102	115	120
産婦人科	54	44	46	44	49
麻酔科	50	54	52	78	80
精神科	82	74	71	78	77
神経内科	22	25	33	28	28

滋賀県内の医師の状況2

- ❁ 県出身の医学生数：、25～43人/年

滋賀県の医療は、県内出身者だけでなく多くの県外出身者にも支えられている。

- ❁ 研修医数：**78人**〔H25〕、**75人**〔H24〕、**75人**〔H23〕、**71人**〔H22〕、**79人**〔H21〕

（この内、約6割が、県内に残る）

- ❁ 主要な関係大学：滋賀医大、京大、京都府立医大等

- ❁ 滋賀県の医師不足は、主に**病院**で生じている

病院勤務常勤医数は、**H18** 1, 492から減少し、**H20** 1, 366と底となり、以後増加し、**H21** 1, 527、**H23** 1, 556となっている。**必要求人医師数は、H22.6で、334人**である。

- ❁ 医師不足病院の多い地域：湖北、湖西、湖東、（東近江、甲賀）

- ❁ 医師採用の困難化が影響している分野

周産期医療、救急医療、小児救急医療、精神科、神経内科
子ども心の診療、認知症治療医、リハビリ科

- ❁ 県内の病院等で要望の高い科**〔H24〕**

救急科、精神科、麻酔科、産婦人科、小児科、保健所医師、
内科（神内、呼、消、循等）、整形外科、外科

- ❁ へき地診療は、自治医大卒業生で対応（義務年限修了者の県内定着率83%）



滋賀県における医師確保の方策について

滋賀県地域医療対策協議会(H19.H21)

【滋賀県における医師不足の主な要因】

- ①新医師臨床研修医制度を契機とした若手医師の医局離れの加速
- ②ベテラン医師の開業志向や若手医師の都会志向の高まり
- ③産科における過重労働や訴訟の多さ
- ④小児科における休日・夜間救急等による過重労働
- ⑤女性医師の割合の増加と出産・育児による離職者の増加

【滋賀県の医師の配置状況】

- ①全県では若干増加しているものの全県的に不足している
- ②特に、東近江、湖東、湖北、湖西の地域で減少
- ③特に、産科、小児科、精神科、麻酔科等で不足



滋賀県における医師確保の方策について

滋賀県地域医療対策協議会 (H19.H21)

【滋賀県における医師確保のための対策】

- 1.安定した医師確保システムの構築
- 2.滋賀県で働きたいと思える魅力ある
病院づくり
- 3.女性医師の働きやすい環境づくり
- 4.積極的な医師の養成
- 5.働く意欲を引き出す職場環境づくり



滋賀県の医師確保対策事業予算

・H18年度 2月補正予算	
医師確保対策基金の創設:	3億円
・H19年度医師確保総合対策事業	12,006万円
・H20年度医師確保総合対策事業	14,401万円
・H21年度医師確保総合対策事業	14,863万円
・H22年度医師確保総合対策事業	19,295万円
+地域医療再生事業	32,573万円
・H23年度医師確保総合対策事業	13,046万円
+地域医療再生事業	32,138万円
・H24年度医師確保総合対策事業	16,200万円
+地域医療再生事業	40,500万円

新規: 滋賀県 医師キャリアサポートセンター運営事業 (2,500万円)



滋賀県における医師確保対策

H24年度医師確保総合対策事業 16,200万円

+地域医療再生事業 40,500万円

(1)医師確保システムの構築

- ・地域医療対策協議会の設置
- ・**滋賀県医師キャリアサポートセンターの設置**
 - ・医師確保支援センターの発展的拡大
- ・県内出身医学生への働きかけ
- ・滋賀医大地域里親制度(NPO滋賀医療人育成協力機構)への支援
- ・大学寄付講座の設置等
 - 地域周産期医療学講座
 - 地域精神医療学講座
 - 総合内科学講座・総合外科学講座
 - 家庭医養成・子どもの心の診療医養成

(2)魅力ある病院づくり医師研修制度の充実

- ・初期研修の充実
 - 指導医の育成
 - WATCH In Shiga(1年目、県医師会)
 - 研修医・若手医師フォーラム(2年目、県病院協会)
- ・後期研修の充実
 - 専門研修プログラムの作成(滋賀医大等)

(3)女性医師の働きやすい環境づくり

- ・女性医師職場復帰研修支援事業
- ・女性医師臨床復帰奨励事業
- ・女性医師離職防止事業
- ・子育て医師のためのベビーシッター費用補助

(4)積極的な医師の養成

- ・特定科医学生・臨床研修医・専門研修医貸付金(5・4・4名、産科、小児科、麻酔科、精神科)
- ・医師養成医学生奨学金(10名)
- ・滋賀医大地域推薦枠(18名)・**滋賀医大独自事業**

(5)働く意欲を引き出す職場環境づくり

- ・加重負担の軽減対策

(6)県民理解の促進

- ・上手な受診の仕方等の啓発フォーラム

滋賀県における医師確保養成プログラム(医学生対象)

医学部		初期研修		専門研修			卒後9年目	備考・実績
1年生	3年生	1年目	2年目	1年目	2年目	3年目		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">5名/年 (3年生～)</div> 医学生修学資金貸与 [産科・小児科・麻酔科・精神科]		県内病院		県内の 県指定病院			-	(H19～24) 産科:3名 小児科:16名 麻酔科:1名 精神科:4名
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">8名/年 (1年生～)</div> 医学生奨学金貸与 [滋賀医大生のみ対象] [診療科は問わない]		県内病院		県内の県指定病院 (卒後6年目～9年目)			-	(H21～24) 35名
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">2名/年 (2年生後期～)</div>				県内の県指定病院 (卒後6年目～7年目)				
滋賀医大地域推薦枠 [H21～H23 8人/年]		-		-			(H19～24) 56名	

県内定着率向上

<ul style="list-style-type: none"> ・里親制度(NPO滋賀医療人育成協力機構) ・<u>社会医学実習(滋賀医大等)</u> <p style="text-align: center;">により県内医療機関と交流</p>	県医師会と 県知事による 合同研修懇談会 (Watch in SHIGA)	県病院協会 による トピック的な 課題の合同 研修会	滋賀医大を核とした 複数病院による 合同研修プログラム	<p style="text-align: center;">寄附講座による研修支援</p> 総合内科学講座、総合外科学講座 地域周産期医療学講座、地域精神医療学講座 家庭医養成コース、子どもの心の診療医養成コース
--	---	--	-----------------------------------	--



医師キャリアサポートセンター [現行の医師確保支援センター]	<ul style="list-style-type: none"> <li style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">①研修医・勤務医の派遣元調整 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">②研修病院の指導医の育成による研修の充実 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">③その他キャリアアップ支援 	医師確保総合対策事業等 <ul style="list-style-type: none"> ・やりがいがあり働きやすい環境づくり ・県民理解の促進
-----------------------------------	---	--

(注)
「滋賀医大地域推薦枠」と「社会医学実習」は、滋賀医大のみによる独自事業

滋賀県医師キャリアサポートセンター運営事業

国庫補助事業「地域医療支援センター運営事業」の採択を受け、「滋賀県医師キャリアサポートセンター」を設置し、これまでの「滋賀県医師確保支援センター」の機能に加え、滋賀医科大学と連携し、総合相談窓口の設置による女性医師等の就労支援や若手医師のキャリア形成の支援に取り組む。これにより医師の地域偏在を解消するためのコントロールタワーとしての機能を確立し、地域医療に従事する医師の確保・定着（養成）を図る。

滋賀県医師キャリアサポートセンター

(県庁・滋賀医大)

滋賀県医師キャリアサポートセンター長

専任医師

専従職員

〔拠点：滋賀医大〕

滋賀県

連携

滋賀医大

センター事業内容

- ・ 医師不足状況等の把握・分析
- ・ 医師不足病院の支援
- ・ 臨床研修医の確保対策の充実
- ・ 奨学金受給者等の医師のキャリア形成
- ・ 女性医師等の相談への対応

アドバイザー

- ・ 滋賀県 1名
- ・ 滋賀医大 1名

キャリア形成プログラムWG

女性医師相談WG

滋賀県医師キャリアサポートセンター
運営委員会

【構成メンバー】

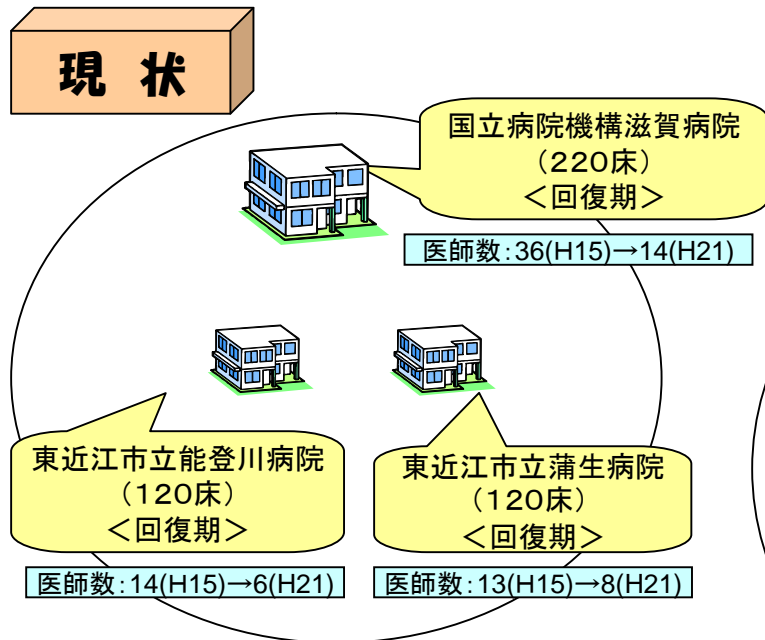
滋賀県、滋賀医大、県病院協会、県医師会
等 7名

【業務内容】

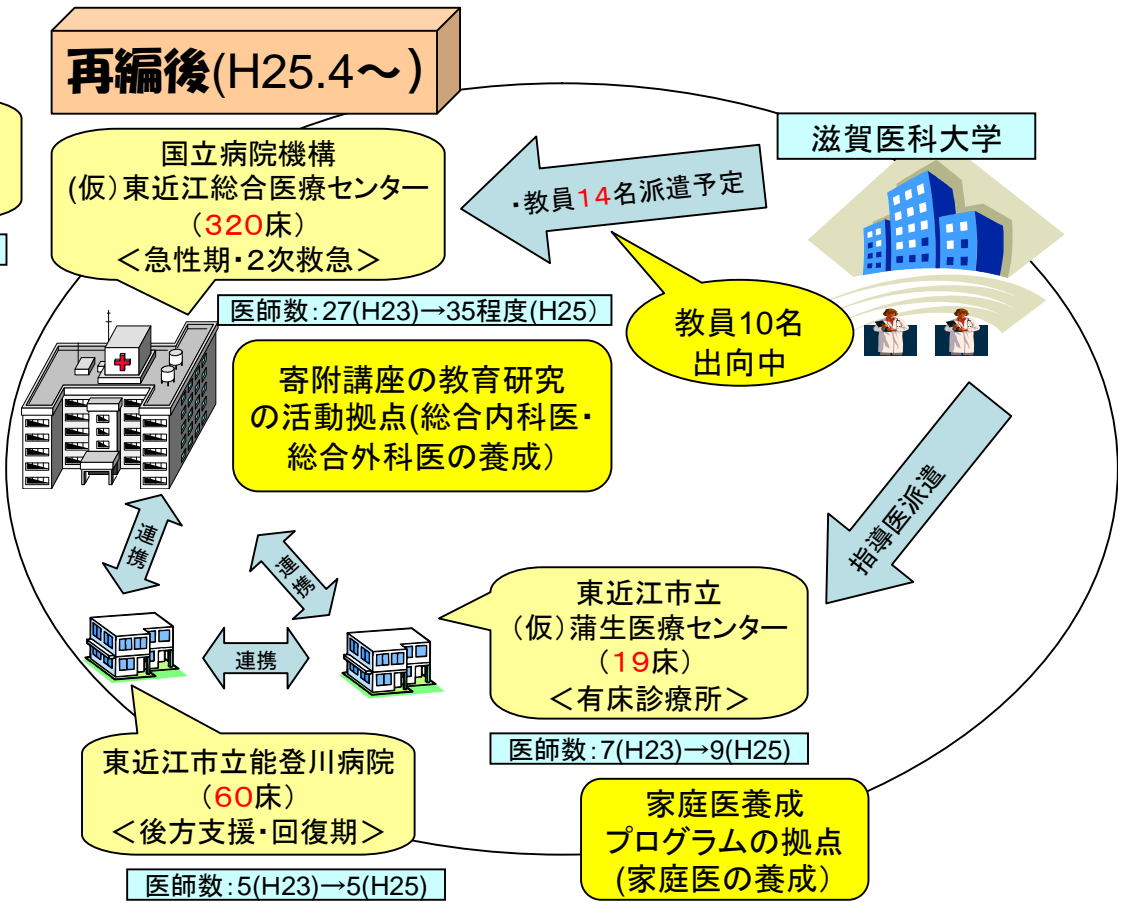
- ・ 医師の地域偏在解消に関する問題・情報などの地域医療関係者間による共有
- ・ センターの運営方針及び業務内容の検討
- ・ 医師のキャリア形成支援のための有効な方策の検討
- ・ その他センターの業務に関する重要事項の検討

寄附講座「総合内科学講座・総合外科学講座」および家庭医養成プログラム事業(委託事業)を活用した医療機関の集約、再編と医師確保(「滋賀県地域医療再生計画」)

現状



再編後(H25.4~)



課題

○東近江市の国公立3病院の医師不足により、二次救急医療体制の確保が困難。
○産科・小児科医師不足により、小児救急および周産期医療の支障。

○寄附講座の教育活動拠点を、新病院(東近江総合医療センター)に設置することにより医師(教員)確保を行うとともに、学生・研修医の教育研修の場とし、総合内科医・総合外科医を養成する。
○家庭医養成研修プログラムの活動拠点を、蒲生医療センター(病院から有床診療所に再編)に設置することにより医師(指導医)確保を行うとともに、研修医の研修の場とし、家庭医を養成する。

滋賀県における医師確保対策の概要1.

－医師確保システムの構築1－

- ❁ 地域医療対策協議会の設置 **H18.9~現在**
協議会中間報告 **H19.1**
小児科部会・産科部会の当面のまとめ **H19.6**
- ❁ 医師確保支援センターの設置 **H19.4~H24.8**
→滋賀県キャリアサポートセンターへ **H24.9~**
ホームページの開設 **H19.4~**
- ❁ 主要三大学等との協力関係の強化 **H18.4~**
- ❁ 地域医療確保ドクターバンクの設置(病院協会) **H18.3**
- ❁ 琵琶湖マザーホスピタル(成人病センター) **H20.4~**
- ❁ 県内出身医学生への働きかけ **H20.12~**
- ❁ 滋賀医大里親制度への支援 **H22~**



滋賀県における医師確保対策の概要2.

－医師確保システムの構築2－

❁ 大学寄付講座の設置

・第一期 H19.9~H22.3

【1】滋賀医科大学：「地域医療システム学講座」
周産期医療

・第二期 H22年度~H26.3

【1】滋賀医科大学：

地域周産期医療学講座（新生児・周産期）

地域精神医療学講座

総合内科学講座・総合外科学講座（地域医療支援）

【2】京都府立医大

医療情報通信学講座



滋賀県における医師確保対策の概要3

— 魅力ある病院づくり —

❁ 医師研修制度の充実

臨床研修病院等連絡協議会(旧: 医師臨床研修制度連絡協議会) **H16.10~**

初期研修の充実

指導医の育成への支援(県病院協会等) **H18.9、H20~**
WATCH In Shiga(1年目、県医師会)の共催 **H19.6~**

研修医・若手医師フォーラム(2年目、県病院協会) **H18.9~**

臨床研修病院紹介パンフレットの作成・配布 **H19~**

産科・小児科特定コース(大津日赤)の設置支援[小児科3、産科1] **H20.4~**

後期研修の充実

地域医療特定コース(公立甲賀)の設置支援 **H20.4~**

専門研修プログラムの作成(県病院協会、滋賀医大) **H22**

研修病院説明会(近畿厚生局、民間)への積極的参加[支援] **H20.3~**



滋賀県における医師確保対策の概要4.

— 女性医師の働きやすい環境づくり —

- ❁ 女性医師職場復帰研修支援事業 **H19~**
…**20万円** × **6ヵ月** × **1人**
- ❁ 女性医師臨床復帰奨励事業 **H19~**
…**20万円/月** × **12ヶ月** × **1/2** × **1人**
- ❁ 女性医師離職防止事業 **H19~** [実績:**3+1+1+4+3+5**]
…**200万円/病院** × **1/2** × **3病院** **H19+H20+H21+H22+H23+H24**
- ❁ 子育て医師のためのベビーシッター費用補助 **H19~**
…**2,000円** × **10時間** × **40回** × **1/4** × **10人**

H20~[実績:**1+10+6**]
H22+H23+H24



滋賀県における医師確保対策の概要5.

—積極的な医師の養成—

- ❁ 滋賀医大入学者の地域枠の確保 (H24: 18人) H10~
- ❁ 自治医大生の進路の拡大 (小児科、産科) H19-22

【小児科2、産科2】

- ❁ 医学生 (3回生: 年4名)、臨床研修医 (年3名)、
専門研修医 (年3名) 向けの資金貸付制度 H19~

対象: 産科、小児科、麻酔科

H21から精神科 (年各1名) を追加

【医学生: 産科3、小児科16、麻酔科1、精神科4】

【臨床研修医: 産科4、小児科1、麻酔科3、精神科1】

【専門研修医: 産科2、麻酔科9、精神科2】

- ❁ 医師養成奨学金制度 H21 (5名)、H22~ (10名)
滋賀医大新入生 (8名) 及び学士編入生 (2名)

H21~24:35



滋賀県における医師確保対策の概要6.

—働く意欲を引き出す職場環境づくり—

❁ 働く意欲を引き出す職場環境整備事業 **2,000万円**
(H19~H21)

[実績: 14病院+15病院+16病院]
H19 H20 H21

❁ 中堅医師応援事業 **2,400万円**
(H22~)

[実績: 15病院+15+15]
H22、H23、H24

❁ 救急医等負担軽減改善事業
救急医の当直代替医の確保等

2,500万円
(H22~)

[実績: 11病院+15+17]
H22、H23、H24



中堅医師応援事業

【取り組み事例】

- ・秘書業務支援による医師の事務負担軽減
- ・休暇取得のための代替非常勤医師雇用
- ・PC等の備品整備により、医師の業務効率化
- ・当直室等の整備により、働く意欲を引き出す



滋賀県における医師確保対策の概要7.

—加重負担の軽減対策—

- ❁ 小児救急医療体制の充実
 - 小児救急医療支援事業 **H13.4~**
 - 小児救急医療地域医師研修事業 **H16.3~**
 - 小児救急電話相談事業 **H17.7~**
 - 小児科マップ作成 **H17.3**
 - 小児救急医療普及啓発事業 **H18.11~**
- ❁ 周産期医療体制のネットワーク作り
 - 総合周産期医療病院への補助等 **H16.9~**
 - 地域周産期医療病院への補助 **H20.4~**
- ❁ 救急医療（小児を含む）・周産期医療等の適正受診のための啓発事業 **H20.11**



滋賀県内の病院等の取り組み

❁ 病院

1. 関係大学への依頼

2. 研修体制の充実

3. 処遇の改善

医師の給与の改善

産科医師の分娩手当等の新設・増額
医師確保のための手当金、奨学金の
創設

公的病院での兼業等の拡大
新規就業医師への支度金

4. 労働負担の軽減

医師事務作業補助員の導入
書類作成ソフトの導入

❁ 国保連合会 (H24:4,911万円)

1. 職場環境整備対策事業

2. 奨学金等貸付事業

医学部6回生(年6名)

・・但し、H24は、5回生3名

臨床研修医(年6名)

医師(年3名)

3. 医師就業支度金(3病院)



国の医師確保対策の概要

- ❁ 医学部の定員の増
- ❁ 診療報酬での配慮
- ❁ 臨床研修制度の見直し
- ❁ 医師派遣制度
- ❁ 女性医師バンク
- ❁ 処遇の改善
 - 産科、小児科、救急科医師の手当ての増額
- ❁ 労働負荷の軽減
 - 医師事務作業補助員の導入等
- ❁ 医療事故対策
 - 産科補償制度の設立
 - 医療事故調査委員会の検討



この5年間で何が変化したのか？

- 全体・・医師確保対策の進展+診療報酬up
地域偏在は、 湖北、湖東、湖西
診療科偏在は、小児科、麻酔科は、増加
産婦人科、精神科は、減少後、やや回復
女性医師の絶対数は、増加するも、その割合は、横ばい
奨学生は着実に増加
- 大学
大学の魅力が増加
医局へ入る医師が回復してきている
来年度から、大学院卒業者が市中へ
- 病院
処遇の改善、研修体制の整備が進む
ベテランが減少

医師確保対策の今後の課題

1. 医師養成システムの構築

県出身の医学部進学者の増加対策

初期及び専門研修制度の充実（知識＋技術）と定員の確保

キャリアパスの検討

2. 医師リクルートの多様化への対処

大学とのタイアップ、広域自治体連携、「民間医局」の活用等

県からの関連情報の提供の推進（医師キャリアサポートセンターホームページの充実）

3. 処遇の改善（労働に見合う評価）・・・大学病院も含む

給料、手当等

4. 大学、病院の魅力づくり

負担の軽減：交替制勤務、宿日直支援等

魅力ある環境：「腕を磨く」「評価が上がる」、研究、研修等、

兼業の拡大

女性医師の働きやすい環境づくり

患者の受診行動の改善

5. 国の対策の充実（国への要望）

補助制度の充実

リスク対策（事故調査第三者機関）



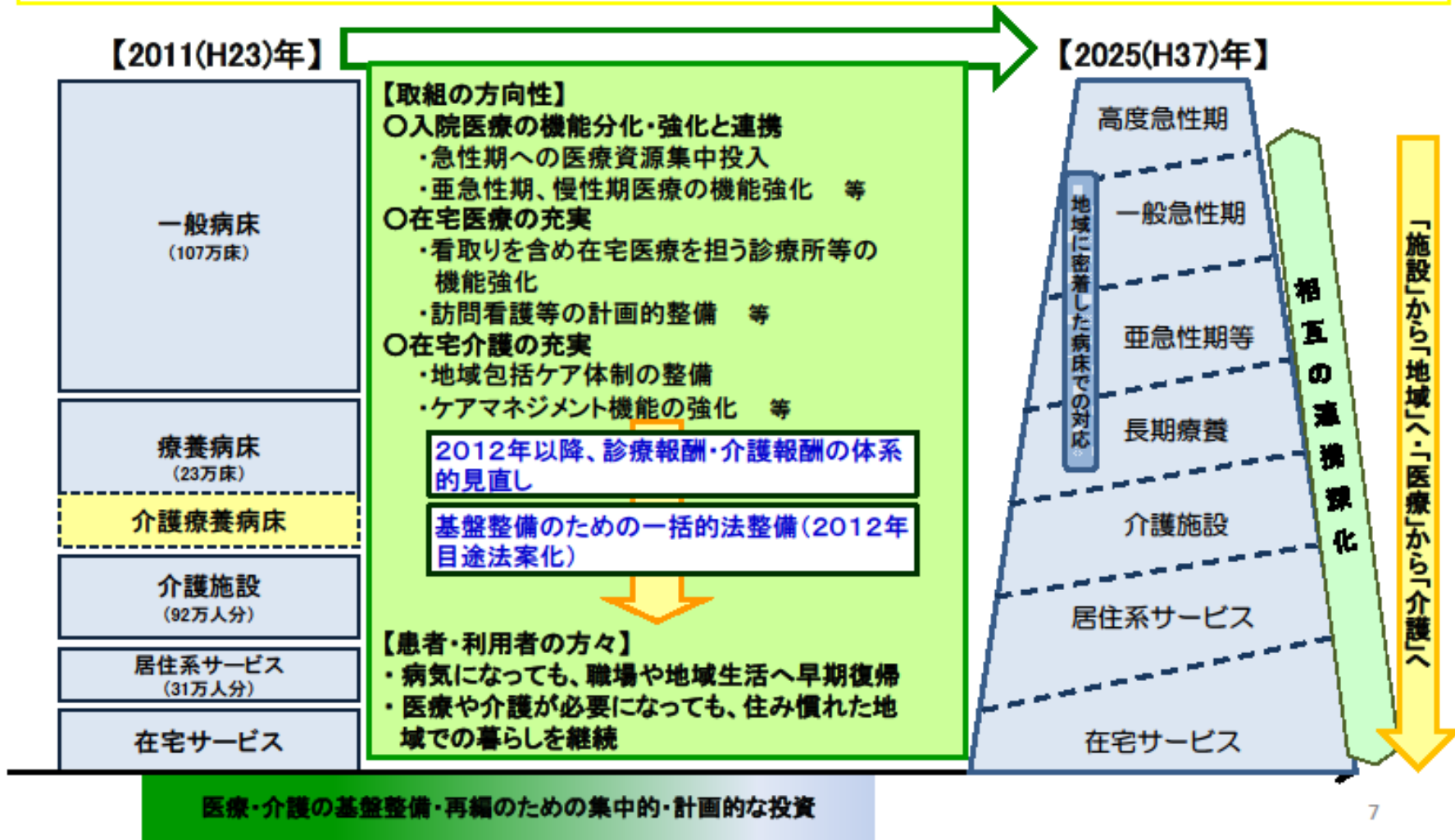
暮らしやすく、将来性の高い滋賀県

- ❁ 総人口 : **141万人** 全国**28位 (H22)**
- ❁ 年少人口割合 (**15才未満**) : **15%** **2位 (H22)**
- ❁ 高齢化率 : **20.7%** **42位 (H22)**
- ❁ 人口増加率 : **0.22%** **5位 (H22)**
- ❁ 出生率 : **9.6** **3位 (H22)** 死亡率 : **8.4** **41位 (H22)**
- ❁ 平均寿命 : 男 **79.6歳** **2位** 女 **86.2歳** **13位 (H17)**
- ❁ 抜群の自然環境 (琵琶湖は日本最大最古の湖)
- ❁ 古い歴史、豊かな文化遺産 (食文化も含む)
- ❁ 元気な経済 (内陸工業県)、高い潜在成長率 (全国1位)
- ❁ 県民所得 : **296万円/人** **4位 (H21)**
- ❁ 京都・大阪からの交通の便が良い
- ❁ 良好な教育環境



将来像に向けての医療・介護機能再編の方向性イメージ

- 患者ニーズに応じた病院・病床機能の役割分担や、医療機関間、医療と介護の間の連携強化を通じて、より効果的・効率的な医療・介護サービス提供体制を構築。



開放型病院

- 大津赤十字病院
- 大津市民病院
- 社保滋賀病院
- 済生会滋賀病院
- 草津総合病院
- 近江草津徳洲会病院
- 野洲病院
- 県立成人病センター
- 公立甲賀病院
- 神崎中央病院
- 長浜赤十字病院
- 市立長浜病院

地域医療支援病院

- 大津赤十字病院
- 大津市民病院
- 済生会滋賀病院
- 近江八幡市立医療センター
- 長浜赤十字病院

在宅療養支援病院

- 琵琶湖大橋病院
- 宮脇病院
- 甲南病院
- 東近江敬愛病院

回復期リハビリテーション病棟

大津赤十字病院(41床)

大津市民病院(30)

滋賀医大附属病院(46)

琵琶湖中央病院(60)

県立成人病センター(40)

南草津病院(42)

草津総合病院(50)

野洲病院(41)

甲西リハビリ病院(56)

近江八幡市立総合医療センター(50)

近江温泉病院(56)

ヴォーリス記念病院(42)

神崎中央病院(60)

豊郷病院(30):H24開設予定

市立長浜病院(52):H25開設予定

療養型病床(医療型+介護型)

大津日赤志賀病院(50)
打出病院(24)
ひかり病院(170)
中山病院,(0+30)
堅田病院(18+27)
琵琶湖病院(24)
琵琶湖中央病院(180)
琵琶湖大橋病院(52)
琵琶湖養育院病院(111)
近江草津徳洲会病院(44)
草津総合病院(99+100)
南草津病院(95)
守山市民病院(40)
びわこ学園医療福祉センター野洲
(38)

公立甲賀病院(21+23)
甲南病院(95)
生田病院(50+50)
甲西リハビリ病院(78+22)
ヴォーリス記念病院(102)
青葉病院(98)
近江温泉病院(176+120)
神崎中央病院(238)
東近江敬愛病院(94)
日野記念病院(49)
豊郷病院(32)
彦根中央病院(60+60)
有仁山崎病院(57)
市立長浜病院(52+52)
市立湖北病院(57)
今津病院(0+40)
マキノ病院(60)

県内の在宅医療福祉のモデル(地域別)

● 東近江

- ①三方よし研究会・・・小鳥Dr、松田Dr、保健所
・・・地域医療連携推進活動(病病・病診連携、
脳卒中クリティカルパス、多職種)
- ②東近江医師会・・・グループ看取り体制
・・・20人の開業医が登録
- ③近江八幡市診療所カンファレンス
・・・医療と介護の連携
- ④永源寺診療所・・・花戸Dr
・・・へき地在宅医療
- ⑤弓削クリニック(竜王町)・・・雨森Dr
・・・在宅医療

● 湖東

- ①レインボウひこね・・・看看連携

● 湖南

- ①済生会訪問看護ステーション・・・九里Ns
・・・訪問看護
- ②野洲守山医師会・・・在宅療養手帳による
病診連携
- ③湖南ネットワークミーティング・・・堀Drら

● 大津

- ①近江在宅医療ケアネット・・・本田Drら

● 甲賀

- ①ケアマネタイム
医療と介護の連携

● 湖北

- ①地域包括ケアセンター伊吹
・・・畑野Dr
・・・へき地保健在宅医療福祉(老健
施設付設)
- ②市立長浜病院・・・退院時カンファレンス
- ③湖北サービス担当者会議
・・・医療と介護の連携
- ④橋本医院・・・橋本Dr
・・・在宅医療と看取り

● 全県

- ①医療福祉・在宅看取り地域創造会議
- ②県連携リハ学会
- ③在宅ホスピス緩和ケア研究会(成人C、堀Dr)